

衆議院農林水産委員会ニュース

平成 30. 3. 22 第 196 回国会第 4 号

3 月 22 日（木）、第 4 回の委員会が開かれました。

1 水産加工業施設改良資金融通臨時措置法の一部を改正する法律案（内閣提出第 15 号）

- ・齋藤農林水産大臣、磯崎農林水産副大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成一自民、立憲、希望、公明、無会、共産、維新）

（質疑者及び主な質疑内容）

伊藤信太郎君（自民）

- ・前回の法改正以降の水産加工資金の貸付実績について、東日本大震災の被災地での活用事例も交えて伺いたい。
- ・今後 5 年間で貸付額がどのように推移していくと見通しているのか。
- ・水産加工施設と集出荷等の施設が一体である場合についても対象となるのか。

江田康幸君（公明）

- ・水産加工資金と他の支援策の併用は可能であるのか。
- ・水産加工業の体質・事業基盤の強化に対する考え方を伺いたい。
- ・水産物の輸出目標達成に向けた水産加工品の位置付けはどうなっているのか。

石川香織君（立憲）

- ・今冬の大雪被害に対する支援対策を具体的に伺いたい。
- ・水産加工品の生産量減少の理由をどのように捉えているのか。
- ・東日本大震災の被災地の水産加工業の売上げの回復の遅れに対してどのような対策が必要だと考えているのか。

緑川貴士君（希望）

- ・水産加工資金の対象魚種はどのような基準で選定しているのか。
- ・ハタハタの漁獲量の減少による水産加工業への影響についてどのように考えているのか。
- ・ハタハタの産卵場所となる藻場の造成について、国とし

てどのように取り組んでいるのか。

金子恵美君（無会）

- ・水産加工資金制度について、恒久的な措置とすることが必要ではないか。
- ・韓国による日本産水産物等の輸入規制に関する WTO パネル報告書を不服として、韓国が WTO 上級委員会への申立てを行ったことに対する農林水産大臣の見解を伺いたい。
- ・タイにおいて福島県産ヒラメの PR イベントが中止になったことに対して、農林水産省としてどのように対応するのか。

田村貴昭君（共産）

- ・水産加工の原料魚の漁獲量の減少は適切な資源管理が行われていないからではないか。
- ・高騰する水産加工品の原材料の購入に対する補助も必要ではないか。
- ・水産加工品の生産量減少に対する打開策が必要ではないか。

森夏枝君（維新）

- ・我が国周辺の水産資源量の今後の見通しはどうなっているのか。
- ・不漁による影響を緩和するためにも、養殖業の振興が必要ではないか。
- ・漁村に人を呼び込む施策が必要ではないか。